

## 平成30年度 基本事業評価シート（平成29年度実績評価）

政策 03 こころ豊かに暮らせるまち

施策 02 生涯学習の推進

基本事業 05 国際交流の推進

主管課：市民協働推進課

関係課：

## 1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民、市内在住外国人	市民が、異文化を尊重・理解して、外国人と接することができるようになる。

## 2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

異文化を尊重・理解して外国人と接することができる市民の割合 (%)					市民協働推進課
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
85.30	84.70	85.60	85.00	85.00	85.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と比較して0.9ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 国際姉妹都市（グリーリー市・マインブルク市）への青少年（中高生）海外派遣事業や同姉妹都市からの訪問団受け入れ事業等が市民の間に浸透していることが考えられます が、当該事業は、応募者など特定の市民を対象としていることから、今後も現状を維持する ものと推測します。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	高				
次年度課題	課題としない				

国際交流関係事業への延べ参加者数（年間）(人)					市民協働推進課
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
3,943.00	4,803.00	6,262.00	6,300.00	6,300.00	4,000.00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成29年度から述べ参加者数の算出方法を変更したため、前年度と比較してプラス1459人と数値が大きく増加しました。 (原因) 国際交流員や国際交流協会等が、ドイツ語講座、日本語講座、中国語講座、MIFAフェスタなどの国際交流を推進するための事業を多数用意したことにより、増加傾向にあります。目標値は達成していますが、今後も、国際交流員の積極的な活用など、多くの市民が参加できる国際交流関連事業を実施します。			
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

### 3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H27年度 決算	H28年度 決算	H29年度 決算	H30年度 予算	H31年度 見込
事業費合計	21,101	10,656	15,148	15,982	15,417
人件費	0	7,384	9,668	0	0
トータルコスト	21,101	18,040	24,816	15,982	15,417

#### 4 基本事業の推進状況と課題

#### 前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

国際姉妹都市（マインブルク市・グリーリー市）への青少年（中高生）の派遣や同姉妹都市からの市民や中高生等の訪問受け入れなど、市民レベルでの交流を実施しました。平成29年度からは、市財政状況や受益者負担を鑑み青少年海外派遣の市負担分（1/2）の上限を30万円から10万円に引き下げました。	推進状況	順調
国際交流員による公立保育所での「ハロー・ドイツ」や市民対象の「クリスマスクリッキー教室」、もりや市民大学での講演など、さまざまな年代の市民と多くの交流ができました。国際交流に関するさまざまな事業実施により市民の国際交流意識が向上しており、今後も継続して取り組んでまいります。	次年度への課題	課題なし
国際交流員による公立保育所での「ハロー・ドイツ」や市民対象の「クリスマスクリッキー教室」、もりや市民大学での講演など、さまざまな年代の市民と多くの交流ができました。国際交流に関するさまざまな事業実施により市民の国際交流意識が向上しており、今後も継続して取り組んでまいります。	成果方向性	向上
国際交流員による公立保育所での「ハロー・ドイツ」や市民対象の「クリスマスクリッキー教室」、もりや市民大学での講演など、さまざまな年代の市民と多くの交流ができました。国際交流に関するさまざまな事業実施により市民の国際交流意識が向上しており、今後も継続して取り組んでまいります。	コスト方向性	維持

## 5 基本事業を構成する事務事業の評価